



平成 29 年 4 月 28 日

各 位

上場会社名 シナネンホールディングス株式会社
代表者 代表取締役社長 崎 村 忠 士
(コード番号 8132)
問合せ先責任者 財務経理部長 星 野 豊
(TEL 03-5470-7105)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年5月11日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成29年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	250,000	3,100	3,900	2,200	171.09
今 回 修 正 予 想 (B)	218,000	3,000	3,480	2,640	204.57
増 減 額 (B-A)	△ 32,000	△ 100	△ 420	440	
増 減 率 (%)	△ 12.8	△ 3.2	△ 10.8	20.0	
(ご参考) 前期実績 (平成28年3月期)	209,112	3,504	4,274	2,219	172.79

2. 修正の理由

平成29年3月期における売上高は、原油価格が想定より低く推移したことや、需要の減少など厳しい市場環境により販売数量が想定より少なかったことから、業績予想を下回る見通しです。

営業利益は、エネルギーソリューション事業が好調だったことや、ガスの事業拠点再編・強化といった収益構造改革が進んだことからほぼ想定通りとなりますが、経常利益は、原油先物取引によるデリバティブ利益が減少したことから、予想を下回る見通しです。また、当社及びグループ会社において複数の土地の売却や収用による特別利益614百万円を計上したため、親会社株主に帰属する当期純利益は予想を上回る見通しです。

尚、前期実績には、LPガスボンベの軒下在庫数量に係る見積り算定方法の変更の影響額778百万円が含まれていません。その結果、前期の営業利益、経常利益は増加しましたが、当期の実績に影響はありません。

(注)上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績につきましては、5月12日に予定しております決算発表時にお知らせいたします。

以 上